

事務連絡
令和5年8月7日

関係各博物館 代表者 殿

文化庁企画調整課

「令和5年度 ミュージアム・トップマネジメント研修」の実施について

本年4月より改正博物館法が施行され、博物館が社会教育施設であるとともに、文化施設として多様な主体との連携を行い、文化観光やまちづくりへ寄与することが求められこととなりました。また文化庁では、学芸員の資質向上を目的とした研修事業についても、法改正の趣旨を踏まえた改編を進め、令和4年度より、文化をつなぐ研修、トップマネジメント研修、パブリックリレーションズ研修の3研修を実施しております。

このうち、館長・副館長・管理職を対象とし、マネジメント・事業評価・改善等に関する高度な専門知識の習得や博物館運営責任者としての力量向上を目指す「令和5年度 ミュージアム・トップマネジメント研修」を下記の要領で開催することとし、受講者を募集します。

については、貴館において本研修への参加希望者がある場合は、応募者ごとに下記応募フォームへの入力を行ってください。受講の可否については文化庁において選考の上決定し、応募者に直接通知します。

記

1. 開催趣旨：博物館及びそれに類似する施設の館長・副館長・管理職に対し、博物館の役割と機能、マネジメント、事業評価・改善に関する高度な専門知識、及び、博物館を取り巻く社会の動向等について学ぶ機会を提供し、博物館運営の責任者としての力量を高める。
2. 主催者：文化庁、国立教育政策研究所
3. 対象者：博物館及びそれに類似する施設の館長・副館長・管理職
上記と同様の職務を行うと主催者が認める者

4. 実施期間：令和5年9月27日（水）～29日（金）（3日間）
5. 実施方式：①現地参加（50人／全日程全科目の受講が可能な者）
②講義科目のみのオンライン（80人）
6. 開催会場：国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター(東京都台東区上野公園 12-43)
7. 研修内容：別紙のとおり
8. 申込方法：受講希望者本人が下記のリンク先にアクセスし、必要事項を記入する。
<https://forms.office.com/r/qYqFseNSQM>
申込期限は、令和5年8月25日（金）12時まで
9. 備考：
・受講決定は、8月31日（木）頃を目途にメールにて通知を予定。
・現地参加の場合、全日程全科目の受講を修了の要件とし、部分受講は認めない。受講及び配布資料は、無料とする。
・講義科目のみオンライン参加の場合、受講は無料とし、パソコンの用意や通信に係る費用は、各受講者が負担すること。
・修了証は交付しない。
ただし、現地参加において全日程全科目を履修した受講済者については、当該研修の修了者として氏名を文化庁ホームページにて公表予定。

問合せ先

文化庁 企画調整課 博物館振興室 研修担当（山口）

住所：〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2

電話：03-5253-4111（内線 3152, 4772）

E-mail: museum@mext.go.jp

令和5年度 ミュージアム・トップマネジメント研修

1 研修の趣旨

博物館及びそれに類似する施設の館長・副館長・管理職に対し、博物館の役割と機能、マネジメント、事業評価・改善に関する高度な専門知識、及び、博物館を取り巻く社会の動向等について学ぶ機会を提供し、博物館運営の責任者としての力量を高める。

2 研修の概要

主催者：文化庁，国立教育政策研究所

対象者：博物館及びそれに類似する施設の館長・副館長・管理職

上記と同様の職務を行うと主催者が認める者

実施期間：令和5年9月27日（水）～29日（金）（3日間）

実施方式：①現地参加（50人／全日程全科目の受講が可能な者）

②講義科目のみのオンライン（80人）

開催会場：国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター（東京都台東区上野公園 12-43）

3 日程とカリキュラム

| 【1日目】 | 時間 | テーマ | 概要 |
|-------|-------------|--|--|
| | 10:00～10:15 | 開講式(挨拶, ガイダンス) | 主催者挨拶, 進行の説明, 注意事項等 |
| 講義1 | 10:15～11:15 | 文化施設としてのミュージアム | 改正博物館法の施行に伴い、地域の多様な主体との連携・協働によって地域活力の向上へ寄与する新しいミュージアム像を俯瞰する。 |
| | | 山梨絵美子 千葉市立美術館長／日本博物館協会会長 | |
| 講義2 | 11:30～12:30 | 博物館実務と法令 | 博物館現場において必要となる法令や制度（文化財保護法，登録美術品制度，美術品補償制度等）について，必要となる場面と手続きを概説する。 |
| | | 山口俊浩 文化庁 企画調整課 博物館振興室 | |
| 講義3 | 13:30～14:30 | リスク管理と対処 | 日常の事故，怪我及び盗難など，ミュージアムにおけるリスクの種類と近年の傾向を認識し，その予防と対処について学ぶ。 |
| | | 調整中 | |
| 講義4 | 14:45～15:45 | ミュージアム DX の推進と展開 | DX がもたらす博物館の機能強化と価値発信の可能性について戦略的に考える。 |
| | | 山崎新太 株式会社日本総合研究所 地域・共創デザイングループ シニアマネジャー | |

| | | | |
|-----|-------------|------------------------------|---|
| 講義5 | 16:00～17:00 | 価値創出のための評価 | ミュージアムの活動や資料の価値を可視化し、発信することで社会的価値を創出するための評価手法や指標について学ぶ。 |
| | | 佐々木 亨 北海道大学大学院 文学研究院 特任教授 | |

【2日目】 時間 テーマ 概要

| | | | |
|--------------|-------------|---------------|---|
| グループ ワーク1 | 10:00～15:30 | 今日的課題への対応(討議) | ミュージアムが抱える今日の課題について、時事的要素を織り込みながらグループ討議し、相互発表を行う。 |
| | | 文化庁 | |
| グループ ワーク2 | 15:45～17:00 | 今日的課題への対応(発表) | |

【3日目】 時間 テーマ 概要

| | | | |
|-----|-------------|---------------------------------|--|
| 講義6 | 10:00～11:00 | 文化政策とミュージアム | 博物館を取り巻く文化政策と、望ましいあり方について、博物館・市民・行政の関係性からひもとく。 |
| | | 小林真理 東京大学大学院 人文社会系研究科 教授 | |
| 講義7 | 11:15～12:15 | 外部資金の獲得／寄付者の視点 | 支援者による理解、寄付の喚起、ファンドレイズ体制の確立といったミュージアムの基盤強化につながる好循環を念頭に、寄付者の視点を知る。 |
| | | 鎌倉幸子 かまくらさちこ株式会社 代表取締役 | |
| 講義8 | 13:15～14:30 | 「これからの博物館」に向けて | 多様な主体との連携により地域課題の解消や地域活力の向上を目的とを図る、「これからの博物館」を改正博物館法や文化観光推進法から考える。 |
| | | 中尾智行 文化庁 参事官(文化拠点担当)博物館支援調査官 | |
| 講義9 | 14:45～16:00 | 欧州における博物館経営 | 欧州における美術館を例として、経営戦略によって示される博物館の「価値」と社会的理解がもたらす「効果」の関係性について知る。 |
| | | 布施優子 NTVヨーロッパ 経営取締役社長 | |
| 討議 | 16:15～17:00 | 質疑応答, 全体討議 閉講式 | 参加者全員及び文化庁職員による質疑応答。 |

社会教育実践研究センターへのアクセス



国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター

〒110-0007

東京都台東区上野公園12-43

03-3823-0241

- ・JR山手線、JR京浜東北線「鶯谷駅」南口より徒歩10分
- ・JR各線、JR新幹線各線、東京メトロ銀座線、日比谷線、京成線「上野駅」公園口より徒歩15分
- ・東京メトロ千代田線「根津駅」1番出口より徒歩15分

